令和７年度事業報告書

（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久領の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行っている。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

１　重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

（１）釈菜事業

（２）全国ふるさと漢詩コンテスト事業

（３）スクール（寿）コンサート事業

（４）中国の旅事業

２　地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

（１）孔子の里ジュニアガイド事業

（２）生活体験学習（通学合宿）事業

３　重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

（１）多久聖廟の維持管理事業

（２）多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

（３）東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

４　図書製作販売事業

５　新年のつどい開催事業

６　各種教室・講座開催事業

７　法人運営・管理事業

【事業の実績】

１　重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

（１）釈菜事業

釈菜は、多久聖廟創建（１７０８年）以来、３１８年の歴史があり、春（４月１８日）、秋（１０月第４日曜日）の年２回開催している。１９８０年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

このような佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代へと的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア　実施時期：春（４月１８日）、秋（１０月２６日）の年二回開催

イ　事業の対象者：一般住民（参拝者：春約１，０００人、秋約２，０００人）

ウ　周知方法：ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、市報、新聞、チラシ等を活用して周知した。

（２）全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア　募集（周知）方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、市報、新聞、ホームページ等を活用して、周知した。

イ　応募実績

海外及び全国より１７２点の応募（応募者　１２０名）

ウ　審査方法

審査は、公平を期すよう氏名等を伏せた作品を審査員の方々に送付し、

審査していただいた。

エ　審査員

大木康先生（東京大学名誉教授）、鷲野正明先生（国士舘大学名誉教授）

オ　表彰方法

１１月２９日に東原庠舎において、入賞者を表彰した。最優秀賞作品は、石碑に作品を書いた陶板を埋め込み、多久聖廟参道脇に設置した。

併せて、公益財団法人斯文会理事長宇野茂彦氏を講師に招き公開講演会を開催した。

最優秀賞	越中風盆 （えっちゅうかぜのぼん）	齋藤（さいとう）　昌枝（まさえ）	栃木県下野市
優秀賞	郷村秋社 （きょうそんのしゅうしゃ）	矢鳴（やなる）　豊子（とよこ）	福岡県水巻町
優秀賞	佞武多 （ねぶた）	浦上（うらかみ）　佳奈（かな）	東京都国立市
入選賞	獺祭 （だっさい）	林（はやし）　孝子（たかこ）	熊本県熊本市
入選賞	多久聖廟釋菜 （たくせいびょうせきさい）	岡田（おかだ）　譲（ゆずる）	東京都渋谷区
入選賞	山寺盂蘭盆 （やまでらうらぼん）	金澤（かなざわ）　武司郎（たけしろう）	神奈川県横浜市
奨励賞	懐顧札幌雪祭 （さっぽろゆきまつりをかいこす）	吉田（よしだ）　雅孝（まさたか）	佐賀県吉野ヶ里町

（３）スクール（寿）コンサート事業

多久市在住の趙勇氏（揚琴演奏家）の高いレベルの揚琴を鑑賞し、高齢者や子供達の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア　開催場所等

（ア）スクールコンサート

市内義務教育学校３校（参加者：児童・生徒、教師）

学校名	開催日	参加者数(合計)
中央校	１２月１７日（２回）	１５９名（４・８年生）
西渓校	２月３日（２回）	５０名（４・７年生）
東部校	２月５日（２回）	５６名（４・７年生）

（イ）寿コンサート

開催場所	開催日	参加者	参加者数
多久公民館	１月９日	多久町老人クラブ	３０名
東多久公民館	１月２１日	東多久町老人クラブ	３０名

（４）中国の旅事業

多久聖廟は孔子様を祀っており、長年、中国曲阜市や孔子直系子孫の方々と積極的に交流を行っていることから、市民同士の友好を育み、中国文化への理解を深めるため中国の旅事業を実施している。孔子第７９代嫡孫孔垂長氏の表敬訪問を兼ねて台湾を予定していたが、参加者が最低催行人数に達しなかったため、団体での訪問は中止し、事務局および理事長が渡台して表敬訪問を実施した。

２　地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

（１）孔子の里ジュニアガイド事業

児童や青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要であることから、児童や青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図った。

ア　対象児童

義務教育学校３・４・５・６年生

イ　募集方法

５月に対象者全員（５５２名）に案内チラシを配布し、周知した。

ウ　実施時期

毎月第２・第４土曜日の午前中

エ　実施内容

（ア）ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ児童を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構え等について、６０分１８回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成した。

（イ）ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受付けるとともに、ジュニアガイドのスケジュールを管理した。

（ウ）孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようにサポートしていただいた。

（エ）他団体との交流

他団体との交流については、３月に唐津市の佐賀県立名護屋城博物館にて市外研修を行い、ガイドへの取り組みや名護屋城の歴史等について学習した。

オ　育成実績：１３名

（２）生活体験学習（通学合宿）事業

子供達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる大きな原因の一つには、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。当事業は、年齢の異なる子供達と一緒に生活をしながら様々な体験を通して、我慢する心、譲りあう心、思いやりの心を学ぶ場として実施している。

令和７年度は、体験活動として多久市に店舗を構える小﨑氏によるおにぎり作りや、環境保護の観点から消しゴムはんこ作家の野田氏とオリジナルエコバックの制作を行った。

ア　実施時期：９月１８日～２０日（２泊３日）

イ　実施場所：東原庠舎

ウ　募集方法：多久市内の各義務教育学校３～５年生の全児童に案内チラシを配布し、周知した。

エ　参加費用：５，０００円

オ　参加実績：３２人（多久高等学校よりボランティアとして学生２人参加）

３　重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

（１）多久聖廟の維持管理事業

多久聖廟及びその周辺に存在する２施設の一体的保全、管理を行った。重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庠舎」の３施設を一体的に管理、運営することにより、聖廟を見学し、展示館で釈菜等の伝統文化に触れ、東原庠舎で講義研修を受講することができる等一連の流れの中で学習することができる。

このため、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一体的に体験し、学習する機会を創出し、文化・芸術の振興・発展や地域の活力ある発展に寄与した。

（２）多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

多久聖廟は３１８年の歴史を持ち、春と秋に釈菜を開催している。多久聖廟展示館では、多久聖廟の歴史及び多久の偉人の紹介や伝統・文化を紹介している。映像ライブラリーを設置し、訪れた観光客に対して多久聖廟や釈菜の詳細を、映像を通じて発信した。

また、現在の多久の魅力を知ってもらうために実施した「多久百景写真コンテスト」の作品を展示することで地域の活力ある発展に寄与した。

ア　孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祀られている孔子像及び四配に関する過去の調査資料を展示するとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示した。

イ　釈菜に関する資料、衣装等の展示

釈菜で行われる伝統芸能の資料や衣装を展示した。

ウ　多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行った。

（３）東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する貸与事業を行い、学芸文化等の研鑽振興を図った。

ア　利用件数　２３１件

イ　利用人員延べ３，０３３名（宿泊５６２名・日帰り２，４７１名）

４　図書製作販売事業

多久市観光協会や一般社団法人たく２１と連携して、孔子廟に関する書籍や論語カルタ等を製作、販売し、多久聖廟、東原庠舎の歴史及び孔子の教えを広く一般に周知した。

また、ふるさと応援寄附金の返礼品、多久市観光協会の通信販売サイトふるさとＴＡＫＵ配便による販売も昨年度同様に注文を受けている。

（１）販売場所

東原庠舎、多久市物産館朋来庵、通信販売サイトふるさとＴＡＫＵ配便、多久市まちづくり交流センターあいぱれっと

（２）出版物概要

百人一首式論語カルタ（絵入・文字）、論語いろはカルタ、論語日めくりこよみ、論語解説書、日本・中国・朝鮮の孔子廟、多久の詩情・多久聖廟を歩く

（３）販売実績：６２６，３８４円

５　新年のつどい開催事業

天山多久温泉ＴＡＱＵＡにて、多久市商工会及びＪＡさがとの共催で開催した。当日は、多久市民の有志が一堂に会し、佐賀県副知事や県選出国会議員を来賓に迎え、共に新年の抱負を語らい、お互いの親睦を図った。

（１）対象

市民、市内・市外の企業等

（２）募集方法

チラシ、ホームページ、市報等を活用して周知

（３）参加者

１４１名

6　各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図った。

（1）市民大学運営事業

ア　内容（17 講座）

中国古典の扉、古文書教室、たのしい短歌、岸川まんじゅう屋さん、リアルなレモンをつくろう、本格蕎麦打ち（前期）、本格蕎麦打ち（後期）、花おはぎ作り、自然素材のクリスマスリース作り、水引で結ぶ季節のかざり、夏休み☆米粉マフィン教室、草場佩川の「山野一善」（其の四）、石井鶴山の奥羽紀行-「おくのほそ道」との比較を中心に-、初期伊万里ビッグバン磁器の開発と展開、佐賀藩成立の立役者・多久安順の時代、草場佩川が見聞きした松浦地方の史話・名護屋城跡・小川島捕鯨、草場船山の政治思想-「蟋蟀之吟」を読む-

イ　開催場所

東原庠舎や中央公民館等多久市内の施設

ウ　開催期間

６月～翌年３月

エ　参加人数

延べ１，８５５名

（2）ヨーガ教室

毎月第２・３・４土曜日に東原庠舎にて開催、参加者延べ３０１名

（3）絵手紙似顔絵教室

毎月第２土曜日に東原庠舎にて開催、参加者延べ６０名

（4）太極拳教室

毎週金曜日に東原庠舎にて開催、参加者延べ１２３名

7　法人運営・管理事業

（１）理事会

ア　令和７年５月９日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第１号議案　　令和６年度事業報告の承認について

第２号議案　　令和６年度決算報告の承認について

第３号議案　　評議員選定委員会委員の辞任に伴う補欠選任について

第４号議案　　令和７年度定時評議員会の招集について

イ　令和７年５月２７日

決議事項

第５号議案　　理事長（代表理事）の選定について

第６号議案　　常務理事（業務執行理事）の選定について

ウ　令和７年９月１７日

決議事項

第７号議案　　令和７年度第１回臨時評議員会の招集について

エ　令和７年９月２９日

決議事項

第８号議案　　代表理事（理事長）の選定について

オ　令和８年３月３日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第９号議案　　伶人衣装製作準備資金取扱規程の改正について

第１０号議案　事務局職員給与等規程の改正について

第１１号議案　スクール（寿）コンサート事業の名称変更に伴う公益目的事業の変更届出について

第１２号議案　令和８年度事業計画について

第１３号議案　令和８年度収支予算について

第１４号議案　令和７年度第２回臨時評議員会の招集について

（２）評議員会

ア　令和７年５月２７日

報告事項

令和６年度事業報告について

決議事項

第１号議案　令和６年度決算報告の承認について

第２号議案　理事の任期満了に伴う選任について

第３号議案　監事の任期満了に伴う選任について

イ　令和７年９月２９日

決議事項

第４号議案　理事の辞任に伴う理事の補欠選任について

ウ　令和８年３月２４日

報告事項

伶人衣装製作準備資金取扱規程の改正について

事務局職員給与等規程の改正について

スクール（寿）コンサート事業の名称変更に伴う公益目的事業の変更届出について

事務局職員給与等規程の改正について

令和８年度事業計画について

令和８年度収支予算について

（３）広報誌「鶴山書院報」発行

公益財団法人孔子の里の事業及び多久の歴史について紹介し、賛助会員等へ配布を行った。

第１７号　令和７年　４月１日発行　２，０００部

第１８号　令和７年１０月１日発行　２，０００部